

広 報

のぼり

- 北海道を代表する夏まつり—第21回登別地獄まつり…………… 2 P
- 期待熱く工事着工—鷺別公民館、鉄南ふれあいセンター…………… 2 P
- 事業主・勤労者の方へ—雇用促進制度、財形融資制度…………… 3 P
- 胃がん検診—早期発見で確かな健康を…………… 4 P

● No. 400 ● 昭和59年 8 月15日 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/大洋印刷



はえある栄冠を目指して

中体連バスケットボール予選会

第14回北海道中体連バスケットボール胆振地区予選が7月25、26日の両日、総合体育館で行われました。

各ブロック代表の男子は7チーム、女子は8チームが参加し、男子決勝は地元鷺別中学校と苫小牧の明倫中学校との対戦。試合は前半32対20で鷺別がリードしましたが、後半、明倫が盛り返し、最後の最後まで息詰まる熱戦。結果はわずかに3ゴール差の60対54で鷺別がみごと優勝をかざりました。

中体連では、今回の道大会へ出場した鷺別中バスケットボール部をはじめ、卓球、体操などいろいろな種目で中学生がはえある栄冠を目指し、熱戦を繰り広げました。

勝ち負けにかかわらず、中学生のひたむきな精一杯のプレーに心から声援を送りたいと思います。

8. 15 '84

北海道を代表する夏まつり

第21回登別地獄まつり

日時 8月24日 17時～
25日 13時～
26日 13時～



年に一度、地獄谷の釜のふたが開き、エンマ大王の使者である赤鬼・青鬼が温泉街にやってくる。みなさんと一緒に踊りあかす勇壮な地獄まつりが、八月二十四日(金)から二十六日(日)までの三日間にわたり開催されます。

このまつりは、今年で二十一回目を迎え、北海道夏まつりの最終を飾る代表的なまつりとして成長してきました。

今年も、巨大な鬼みこしが町内を回り歩く「鬼みこし暴れねりこみ」。百個の太鼓が一斉に打ちならされ、鬼踊りのはじまりを知ら

せる「前触れ百太鼓」地獄ばやしのリズムに合わせ、市民と観光客が一体となつて踊りあかす「鬼踊り大群舞」が、三日間通して行われます。

また、今年は従来までの歌謡ショーに変わるビックイベントとして、「音と光による天地創造地獄谷大噴火レーザーショー」が開催されます。

これは、地獄谷の岩肌や噴出する湯気をスクリーンに見立て、音響も加え、数万年前の地獄谷創成期を下ラマチックに再現するもので、全国でも初めての試みです。

そのほかにも、歩行者天国での楽しい催し物、街の若者たちによって創作された「熊舞い」をはじめ、「北海太鼓」「湯鬼神かぐら」が出演する郷土芸能フェスティバルなど、終日を楽しく過ごせるよう盛りだくさんの行事、催し物が企画されています。

地獄まつりは、参加してはじめて楽しいまつりとなります。市民のみなさまの参加をお待ちしています。

なお、まつり期間中の駐車場として地獄谷有料駐車場、温泉小グラウンド、温泉中グラウンドを準備していますが、今年も交通混雑、駐車場不足が予想されますので、マイカーの使用は、極力避けてください。

また、期間中は交通規制が行われますので、みなさんの御協力を願います。



釧路市民館完成予想図



(仮称) 釧路ふれあいセンターの完成予想図

期待熱く工事着工

釧路市民館・鉄南ふれあいセンター

市では、都市基盤・生活環境の整備、教育・文化の振興、福祉の充実などを図るため、各種事業を進めています。

その中でも、特に重点を置いて

いる地域の文化・コミュニティ活動施設として、「釧路市民館」「仮称鉄南ふれあいセンター」が、市民の期待も熱く、来春オープンを目指して建設工事に着手しました。

◆ ◆ ◆

釧路市民館は、完成したばかりの消防署釧路支署横に二億八千五百万円をかけて移転新築するもので、鉄筋コンクリート二階建て延べ千三百五十平方メートルです。

一階には、二十畳の和室、研修室、会議室。二階は、二百人

収容のステージ付き大ホールなどが整備されることになっています。山側と海側の中間に位置し、賢別地区の文化・コミュニティ活動の場として利用が期待されます。

一方、仮称・鉄南ふれあいセンターは、鉄筋コンクリート三階建て延べ千二百四十五平方メートル、事業費は、二億五千万円です。

一階には、肢体不自由児通園施設「のぞみ園」が入り、機能回復、温浴訓練室などが設けられます。

二階は、社会福祉協議会、ウタリ協会事務所や図書室。三階は、二百五十人収容できる舞台付き大ホールとなっています。

完成後は、福祉・ボランティア活動の拠点、鉄南地区のコミュニティ施設として活用されます。

21世紀の北海道を考える会 意見発表者を公募

道からお知らせ

道では、長期展望に立つて新しい北海道の総合計画をつくることにしました。

そこでこの計画の策定に当たって、道民の意向を反映するため、直接皆さんの意見をきく会議を次のとおり開催します。

▽内容 支庁ごとに開催する「21世紀の北海道を考える会」で21世紀の北海道や地域の姿について意見を発表する。

▽公募人数 11名

▽応募資格 胆振支庁管内に居住する満20歳以上の方

▽決定方法 応募者が公募人数を上回った場合は抽せん

▽申込期限 9月17日

▽申込先 胆振支庁地方部総務課・室蘭市幸町9-11(TEL 0143-2219131内線215)

▽申込方法 ハガキに次のことを記入し申し込みください。(氏名、住所、性別、生年月日、連絡先の電話番号、勤務先、職業)なお、電話による申し込みも受け付けます。

※この会議には、知事または副知事が出席する予定です。また、開催日時、場所については、決定次第連絡します。

事業主・勤労者の方へ

雇用促進制度・財形融資制度

雇用促進事業団では、雇用促進制度（雇用促進融資・高齢者職場改善資金融資）と財形融資制度（財形持家融資・財形進学融資）を実施していますのでご利用ください。

▽雇用促進制度：事業主が人材の確保や従業員の定着を図るため

住宅や福利厚生施設を設置したりするために必要な資金を融資する制度
▽財形融資制度：勤労者が住宅、子弟の進学に必要な資金を融資する制度
※なお、対象者・融資額・返済期間など、各種融資ごとに規定があります。

忘れずに納めましょう

国民年金の保険料

今日は、第二期の納付期限月となっています。忘れずに納めましょう。

保険料を納付期限までに納めなければ、不測の事故にあったときの障害年金、母子年金などが受けられないばかりでなく、将来、老令年金も受けられない場合があります。

また、保険料を何カ月分も未納にしてしまうと、額が大きくなり一度にまとめては納めにくくなり、納付期限までに必ず納めるように心掛けましょう。

※保険料のことなど詳しくは、市民課へお問い合わせください。
（電話②111内線245）

おこしください

登別市消費者大会

登別消費者協会では、消費者の生活の向上をはかるため第8回登別市消費者大会を開催します。
なお、当日は北海道消費者協会の専務理事である谷口弘一氏を迎

りますので詳しくは雇用促進事業団札幌支部（電話011-261-5306）または胆振支庁商工労働課（電話0143-221-9131）にお問い合わせください。



▽連絡先 新聞公正取引協議会（電話0144-321-9002）

「ご注意ください」

消火器の訪問販売

最近、消火器の訪問販売によるトラブルが多くなっています。原因の多くは強制するような言動によるものです。次のようなことにご注意ください。

▽一般家庭には消火器を設置し、点検をするような法的義務はありません。

「ご利用ください」

住宅金融公庫の個人住宅資金

住宅金融公庫では、第二回個人住宅資金の受け付けを次のとおり行っています。



▽貸付種別 一般個人住宅建設資金、高層住宅購入資金、建売住宅購入資金

▽申込先 「住宅金融公庫業務取扱店」と表示のある金融機関（申込書も配布中）
▽選定方法 受付日順に選考します。
▽申込期限 9月6日まで
※詳しくは、公庫業務取扱金融機関へお問い合わせください。

▽参加ください
アートフラワー教室
登別文化協会手芸部では、アートフラワー教室を次のとおり開催します。お気軽にご参加ください。
▽日時 9月5・19日・10月3日の3回。午前10時～正午まで
▽場所 市民会館
▽定員 30名
▽費用 教材代として2千円。
▽用意するもの ハサミ、定規（30cm）、メウチ
▽申込受付開始 8月22日から（定員になり次第締め切ります）
▽申込先 社会教育課（電話①1100）

禁止されています

新聞購読者への景品提供

新聞販売員がお宅で「うちの新聞を購読してくれるなら時計を差し上げます」などと強引に勧誘された経験はありませんか。

新聞の購読勧誘での景品提供は法律で禁止されています。各家庭が新聞を選び購読するときは、記事の内容を見てみずから決めることが大切です。

新聞公正取引協議会では、このような違法販売をなくすため、皆さんが違法販売員を見かけた場合にはご連絡くださるようお願いいたします。

届け出を忘れずに

児童扶養手当 特別児童扶養手当

児童扶養手当、特別児童扶養手当を受給されている方は、それぞれ現況届け、所得状況届けを日程表の最寄りの会場で提出してください。

届け出は、引き続き手当を受給するための大切な手続きです。忘れずに済ませましょう。
▷問合せ 社会課（電話⑤2111内線297）

受付日程

月日	時間	会場	対象地区
8月17日(金)	10:00~12:00	登別温泉支所	カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町
	13:30~16:00	登別公民館	中登別町、登別東町、登別本町、登別港町、富浦町、札内町、幸町
8月27日(月)	10:00~16:00	ひまわり園	美園町、若草町、新生町、上鷺別町
8月28日(火)	10:00~16:00	鷺別支所	鷺別町、栄町、若山町、富岸町、大和町
8月29日(水)	10:00~16:00	市役所第二庁舎(旧中央公民館)	幌別町、高士町、中央町、桜木町、緑町、新川町、常盤町、千歳町、柏木町、片倉町、新栄町、青葉町、川上町、鮎山町、栗馬町

新着図書案内

市立図書館 電話54324



いいものほしいもの(秋岡芳夫) 巨匠たちの風景(田中日佐夫) 逆境を愛する男たち(小島直記) 巖本真理生きる意味(山口玲子) みづ高原の夢(三宅理一郎) 幸ってなんだろう(齊藤珠子) 女王陛下が微笑まで(植山周一郎) 日々の方(堀田善衛) 激石の孫のアメリカ(松岡陽子) 風流肝腎譚(上野幸久) 東北発信(寿岳章子) 繁栄日本への疑問(村上兵衛) 遠い対岸(山城正雄) 北海道園芸作業12ヶ月(荒井道夫) 新北海道伝説考(藤哲) 菅江真澄と江差浜街道(小林優幸) 悲劇の泰東丸(大西雄三) 夕日に赤い帆(笠原淳) 白い時間(増田れい子) 検死官(トーマス・野口) 焼跡少年期(吉岡源治) 想い出のふる(加藤シヅエ) お母さまのさんすう(矢野健太郎) 人それぞれに花あり(滝無着成泰) 百色のクレヨン(滝沢忠義) 空ゆかば戦陣物語(青田昇) 未来学対談(渡辺淳一) 明治四年のアンパツサドル(泉三郎) 丹波夜能(三枝和子) 軽やかなビーローたち(城山三郎) 続徳川家臣団(桐淵謙錠) 学問の創造(福井謙一)

夏休み…子どもの交通事故をなくそう

夏休みに入ると、子どもたちは解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合いましょう。

▶親は、子どもを危険な薄暮時や夜間に外出させないようにしましょう。

▶住宅地などでは児童の飛び出しが多いので、ドライバーはスピードを控えめにしましょう。



国民生活

ふれあう心の合言葉

一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

会場	日程	受付時間
ひまわり園	9月5日	13:00~13:20
鷺別公民館	9月5日	13:30~14:00
登別公民館 (登別支所隣)	9月7日	13:00~13:30
国立登別病院	9月7日	14:00~14:20
労働福祉センター (市民プール隣)	9月4日・9月26日	13:00~13:30

予防接種

●三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)
 △対象者 生後24ヵ月から48ヵ月未満の幼児
 △接種の方法 第一期:3週間から8週間の間隔で3回接種、第二期:1期終了後12ヵ月から18ヵ月までの間で1回接種。
 ●麻しん(はしか)
 △接種上の注意
 △子供の健康状態の良好な時に接種する。△接種前日は入浴し、当日は清潔な肌着を着用する。△体温は必ず家で計つてくる。△母子健康手帳を持参する。△できるだけ母親が付き添う。△接種前後に激しい運動をさせない。△接種当日は入浴させない。

胃がん検診

早期発見で確かな健康を

次の日程で胃がん検診を実施します。この機会にあなたの健康を確かめてみましょう。

△対象者 満35歳以上の方
 △日程
 9月11日:労働福祉センター
 9月12日:鷺別公民館
 9月13日:労働福祉センター
 △定員 各日とも200人

△対象者 生後12ヵ月から42ヵ月未満の幼児
 △接種の方法 1回接種
 ※満一歳になりしだい各家庭へ麻しんの受診券を送付していますので、各自、病院で接種を受けてください。なお、受診券が届かなかった方は、保健衛生課へご連絡ください。(TEL 2111内線249)

△検診日の受付時間 午前7時~9時
 △検診料
 ○満40歳~70歳未満:千八百円(ただし、登別市国民健康保険加入の方は千円。当日は保険証を持参してください)
 ○35歳~39歳までの方:三千六百円

3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健師、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

△内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

△実施月日・会場 9月5日/婦人センター
 △受付時間・対象地区 午後1時~2時/カルルス、上登別、登別温泉、中登別、登別東、登別本、登別港、富浦

※70歳以上の方(65歳以上のわたくしの方を含む)、生活保護を受けている方、市民税非課税世帯に属する方は無料です。

△申込先 保健衛生課(TEL 2111内線250)



か、水ぼうそう、おたふくかぜにかかって1ヵ月を過ぎている。
 △その他、予防接種をうけることが不適当な状態にある。

△実施月日
 9月6日:鷺別公民館
 9月7日:労働福祉センター
 9月26日:婦人センター

△受付時間
 午前の部:10時~10時30分
 午後の部:1時~1時30分

△内容 午前:成人病、妊婦、家族計画、幼児(7ヵ月児を除く)の各相談。午後:7ヵ月児相談(59年2月出生児)

△用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

※婦人センターでの健康相談は、午前中に午後の分も合わせて行います。

健康相談

△56年2月28日までの出生児で満4歳児を除く
 △用意するもの 母子健康手帳、対象以外の地区については、次回にお知らせします。また、尿検査は会場で行いますのでご注意ください。

先天性四肢障害児(者)集団検診

生まれつき、手、足およびその指、耳などに欠損機能障害を持っている方の集団検診を次のとおり実施します。

△日時 9月16日(日)午前10時~午後3時まで
 △場所 北海道難病センター(札幌市中央区南4条西10丁目)
 △検診医 木田益四郎先生(帝京大学助教授)

△受診料 無料
 △用意するもの 母子手帳
 △問合先 保健衛生課(TEL 2111内線250)

NHK学園であなたも学習を

NHK学園では、五十九年度秋の「社会通信講座」の受講者を募集しています。

この通信講座の利点は、リポ1トの添削が中心で、だれでも自宅にいながら自分の都合のよい時間に学べることにあります。

△講座 書道、簿記、絵画、英語、俳句、囲碁、文章など15講座40コース
 △受付期限 9月30日
 ※詳しい案内書をご希望の方は、NHK室蘭放送局へ。(TEL 0143-227271)

無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご利用ください。札幌弁護士会室蘭支部の弁護士二人が相談をお受けします。

相談ご希望の方は、あらかじめ申し込みください。

△日時 9月1日(土)午前9時から(毎月第一土曜日)
 △場所 市役所第二庁舎
 △定員 16人(定員になりしだい締め切ります)
 △申込先 公聴広報課(TEL 2111内線222)
 ※裁判や調停中の方は、受け付けできません。

